

「第三期聖籠町子ども・子育て支援事業計画」案 意見募集での提出意見の概要と町の考え方

No.	検討案 該当 箇所	「項目名」 または 「〇〇について」	意見等	町の考え方	修正
1	第5章	施策の現状と目標について	<p>聖籠町の発展を考えるなら、支援事業計画の中に少子化対策も同時に盛り込むべき。 今でさえ人手不足が深刻で仕事になりたない。3人以上の子供のいる家庭を優遇する施策を盛り込んで欲しい。</p>	<p>本計画では、第5章1(1)②「子育てにかかる負担軽減策」において、町の主な施策として、保育料の支援、健やか子育て誕生祝金、3人以上の子どものいる家庭への代表的な支援策として、給食費の支援を掲載しております。 これらの施策については、少子化対策もかねております。 今後とも少子化対策の効果的な施策について検討してまいります。</p>	なし
2	第5章	施策の現状と目標について	<p>町ではDV被害者の保護する施策を行なっているが、統計から将来DVをするパートナーを選ばない教育も中学生から行い、不幸な家庭を生み出さない予防が必要。長期的には予防教育に力を入れることで、根本的な解決につながると思う。</p>	<p>中学校において、指導すべき内容は、「学習指導要領」に定められており、現在パートナーの選択に関わる教育については行っておりません。しかしながら、生徒が自ら生き方を考え、行動する態度や能力を育成することは重要です。学校の人権教育を中心とし、教育活動全体を通じて、以下の点について伝えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の基本的な概念を理解（基本的人権を学ぶ中に、虐待やデートDVなども含まれます） ・予防と対応策（校内の相談窓口や、地域の相談センターなど、誰に相談すれば良いのか、具体的な手段を指導します） ・自尊心と他者尊重の重要性（感情やコミュニケーションの重要性について、健康的な人間関係を築くためのスキルを学びます） <p>人権を尊重する姿勢を養うことで、子どもたちが自分自身や他者を大切に、問題が発生した際には適切に対処できるようになることを目指します。</p>	なし
3	第5章	施策の現状と目標について	<p>長寿支援課では高齢者に健康予防でさまざまな福祉サービスを実施しているが、子供に対しては中学校の部活は地域移行になりますます運動不足で不健康な町民が将来増える事が予想される。小学生からもっとスポーツに触れさせ生涯スポーツを見つけることで健康寿命を伸ばすことが将来高齢者の健康予防費を減らすための投資となる。もっとスポーツ少年団に補助を増やすべき。具体的は子供からナイター代を取らない。必要な道具を援助する、指導者を増やすための取り組みなど。 また子供たちが大人になる頃には、今よりもっとAIや口</p>	<p>町では、「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」、「世界トップレベル選手の育成」、「障がい者スポーツの推進の充実」の3つの観点などから、「第2次生涯スポーツ推進計画」を策定し、スポーツに関する具体的な施策の推進を行っています。 この計画は令和7年度に検証と見直しを行うこととしておりますので、スポーツをする子どもへの支援についても、より効果的な施策を検討してまいります。</p>	なし

			<p>ボットが発展しており知識では AI に敵わず単純な作業や決まった手順の仕事は、どんどんロボットがやるようになるが、サッカーのように、瞬時に状況を判断して、体を思い通りに動かすことは、ロボットにはとても難しい。だからこそ、これからの時代は、スポーツで鍛えた判断力や身体能力、コミュニケーション能力が役立つ仕事が残ると思う。スポーツをする子供にもっと支援が必要と考える。</p>		
--	--	--	--	--	--